

# 米原市議会に関するアンケート調査結果

平成 23 年 12 月 9 日～平成 24 年 1 月 10 日実施

平成 24 年 2 月報告

米原市議会

## 目 次

1. 調査の概要	P 3
2. 調査結果	P 4
(1) データ集計編 (調査結果)	P 4
【1】 アンケート調査への回答率	
【2】 回答者に占める男女の比率《問1》	
【3】 アンケート調査発送時の年齢層と回答者の年齢層との比較《問2》	
【4】 米原・近江・山東・伊吹の旧町域での回答率の状況《問3》	
【5】 市議会への関心の度合い《問4》	
【6】 「市議会だより」の読まれ度合いの状況《問5》	
【7】 市議会の情報の入手先《問6》	
【8】 市議会の傍聴・視聴の度合い《問7》	
【9】 《問7》で見たことがないと答えた方の理由《問8》	
【10】 市民から市議会議員への意見、要望等の伝達状況《問9》-1.-2	
【11】 市議会への市民の声の反映度合い《問10》	
【12】 《問10》で反映されていない理由は何か《問11》	
【13】 市議会に何を求められるのか《問12》	
【14】 議員定数についての意識《問13》	
【15】 議員報酬についての意識《問14》	
【16】 政務調査費について知っておられますか《問15》	
【17】 政務調査費の額についての意識《問16》	
【18】 議会改革に対する評価についての意識《問17》	
【19】 自由記述の概要《問18》	
(2) 分析編	P 16
○アンケート調査を実施したことによりわかったこと	
○アンケート調査を終えてみえてきたこと	
3. おわりに	P 19

## 1. 調査の概要

### 【調査の目的】

米原市議会では、平成 23 年第 3 回定例会において議会改革の推進を目的に「議会改革特別委員会」を設置しました。

今回の調査は、市民の皆さんの市議会に関する意識を調査し、ご意見をうかがい、今後の具体的な改革の指針とすることを目的に実施しました。

### 【調査の概要】

調査区域：米原市全域

調査対象：20 歳以上の市民から 3,000 人を無作為抽出

調査時期：平成 23 年 12 月 9 日～平成 24 年 1 月 10 日

### 【調査結果の見方】

- 今回のアンケート調査は、自由記述の設問を含め 17 問あります。設問のなかには、単数回答（複数の選択肢から 1 つの選択肢を選択する方式）と複数回答（複数の選択肢から 2 つ以上の選択肢を選択する方式）があります。
- 単数回答の設問は円グラフで表しています。円グラフ中のそれぞれの指数は、対象となる指数の総数に占める、選択された回答の割合を示しています。
- 複数回答の設問は棒グラフで表しています。棒グラフ中のそれぞれの指数は、回答項目ごとの延べ数を示しています。また、1 つの回答項目に 2 つのグラフがあるものについては、その回答項目中における割合を示しています。
- データ集計編（調査結果）中のグラフの基となる集計表は、報告書をより見やすくするために省略しました。
- グラフの凡例中「無回答」とあるのは、設問に対して回答がなかったものです。
- 《問 18》の自由記述については、その概要をまとめて記述しています。

### 【分析編】

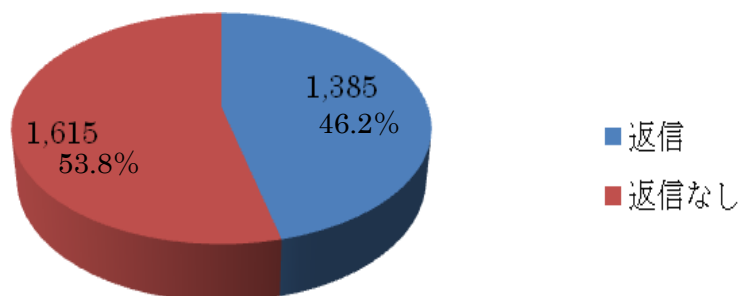
- 分析編では、今回のアンケート調査を実施した結果、新たに発見できたことや改めて確認できたことを「アンケート調査を実施したことによりわかったこと」として列記しました。また、「アンケート調査を終えてみえてきたこと」についても同様に列記しました。

## 2. 調査結果

### 1. データ集計編（調査結果）

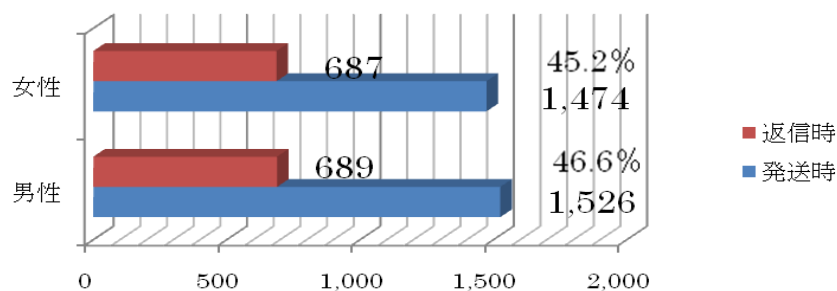
#### 【1】アンケート調査への回答率

アンケート調査への回答率は46.2%でした。市の実施した平成23年度市民意識調査への回答率が41.3%でしたので、市民の皆さんの市議会に関する関心の高さがわかる結果でした。



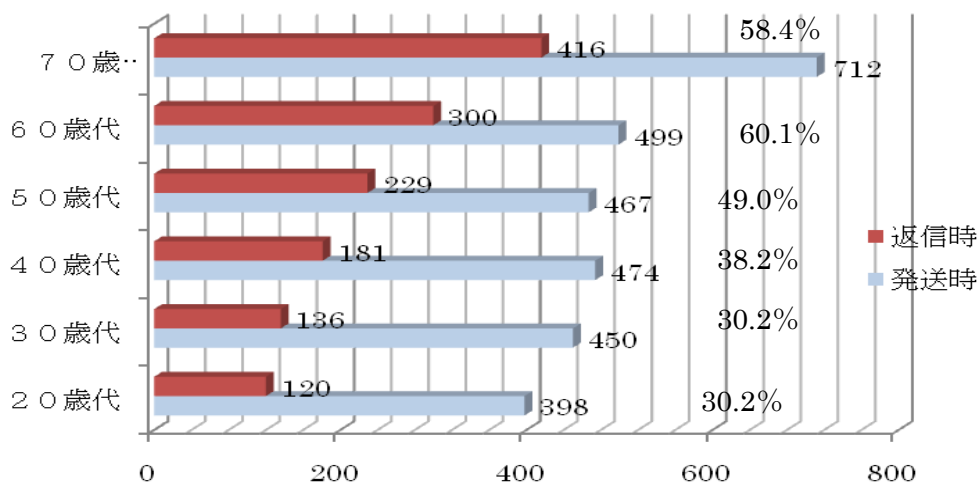
#### 【2】回答率の男女の比較《問1》

男女別の回答率は、男性45.2%、女性46.6%でした。



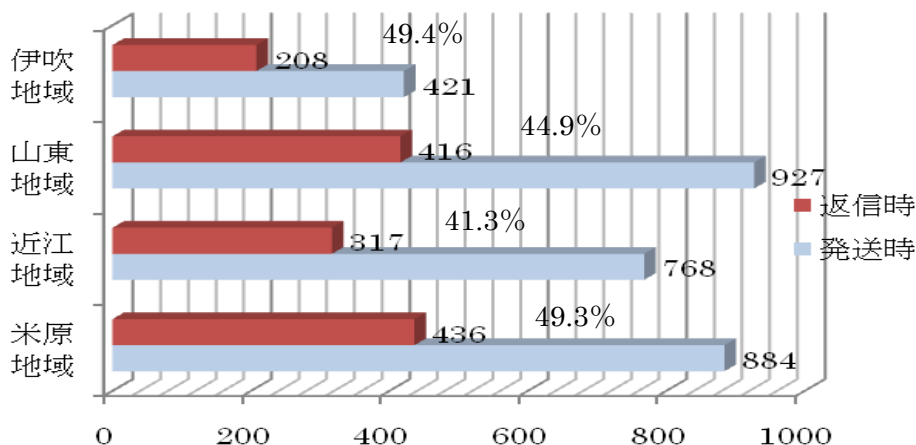
#### 【3】アンケート調査発送時の年齢層と、回答者の年齢層との比較《問2》

アンケート調査は、市民の皆さんの中から無作為で3,000人を抽出し調査をしました。このうち1,385人の方からご回答いただきましたが、その各年齢層に占める割合は、20歳代が30.2%の回答率、30歳代が30.2%、40歳代が38.2%、50歳代が49.0%、60歳代が60.1%、70歳以上が58.4%という結果でした。



#### 【4】米原・近江・山東・伊吹の旧町域での回答率の状況《問3》

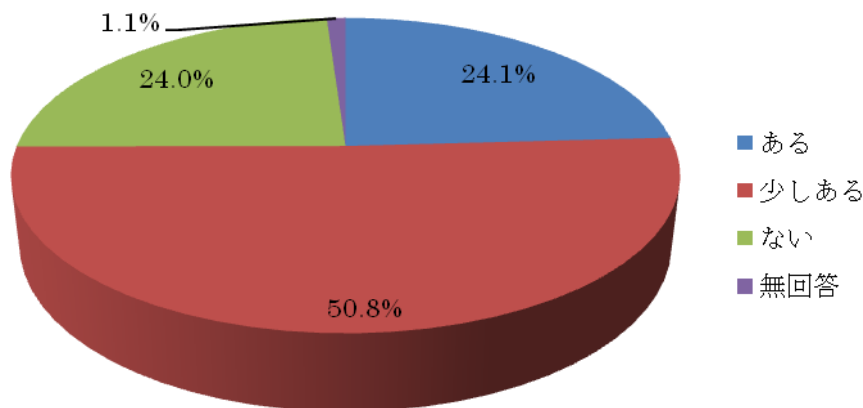
アンケート調査実施に当たっては、市内の旧町ごとにおける人口分布にほぼ則した比率で対象の市民の皆さんへアンケートを送付しました。その結果、旧町ごとの回答率は、米原地域が49.3%、近江地域が41.3%、山東地域が44.9%、伊吹地域が49.4%と、新興住宅団地が多い近江地域が若干低い結果となりましたが、全体では各地域間での大きな開きはありませんでした。



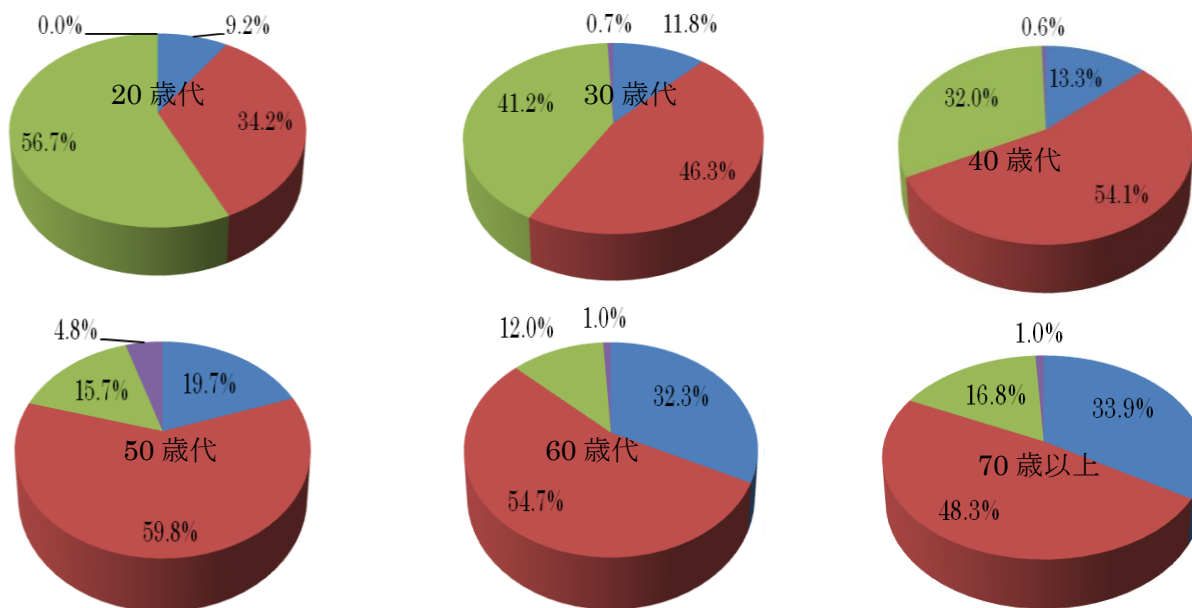
#### 【5】市議会への関心の度合い《問4》

「あなたは市議会に関心がありますか」との問いに対し「関心がある」と答えた方は24.1%、「少し関心がある」と答えた方は50.8%となり、約75%（74.9%）の方が何らかの関心をお持ちであることという結果でした。また、これを年齢層ごとにみると、20歳代が43.4%、30歳代が58.1%、40歳代が67.4%、50歳代が79.5%、60歳代が87.0%、70歳以上が82.2%と、年齢が上がるにつれて関心が高くなるという結果でした。また、年齢が下がるほど市議会への関心は薄れる傾向にあるという結果でした。

#### <全体結果>



<年齢層ごとの結果>



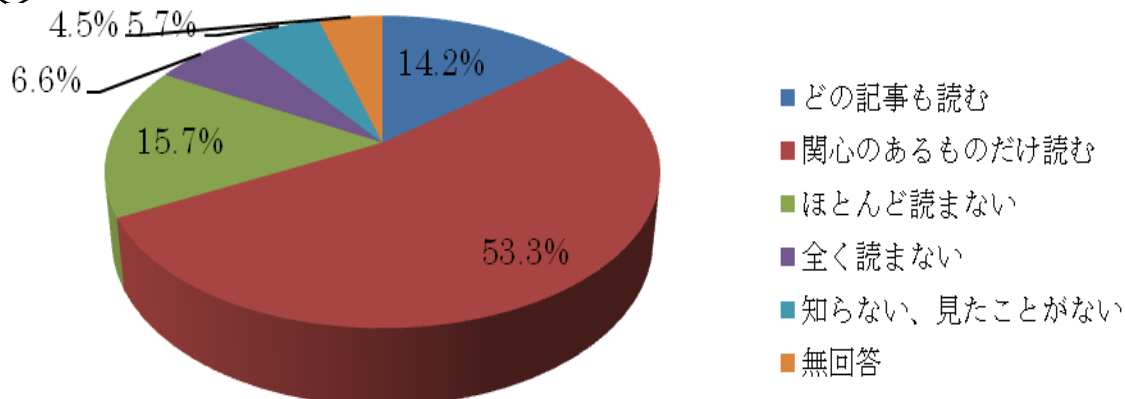
【6】「市議会だより」の読まれ度合いの状況《問5》

「あなたは市議会だよりを読んだことがありますか」との問いに対し「どの記事も読む」と答えた方は 14.2%、「関心のあるものだけ読む」と答えた方は 53.3%であり、約7割（67.5%）の方が何らかの形で市議会だよりを読んでおられるという結果でした。これを年齢層ごとにみると、20歳代が45.9%、30歳代が47.1%、40歳代が61.8%、50歳代が69.9%、60歳代が81.7%、70歳以上が77.9%という結果でした。市議会への関心度合い同様に年齢が上がるごとに議会だよりを読む方が増加し、年齢が下がるごとに読む度合いが低くなる傾向にあるという結果でした。

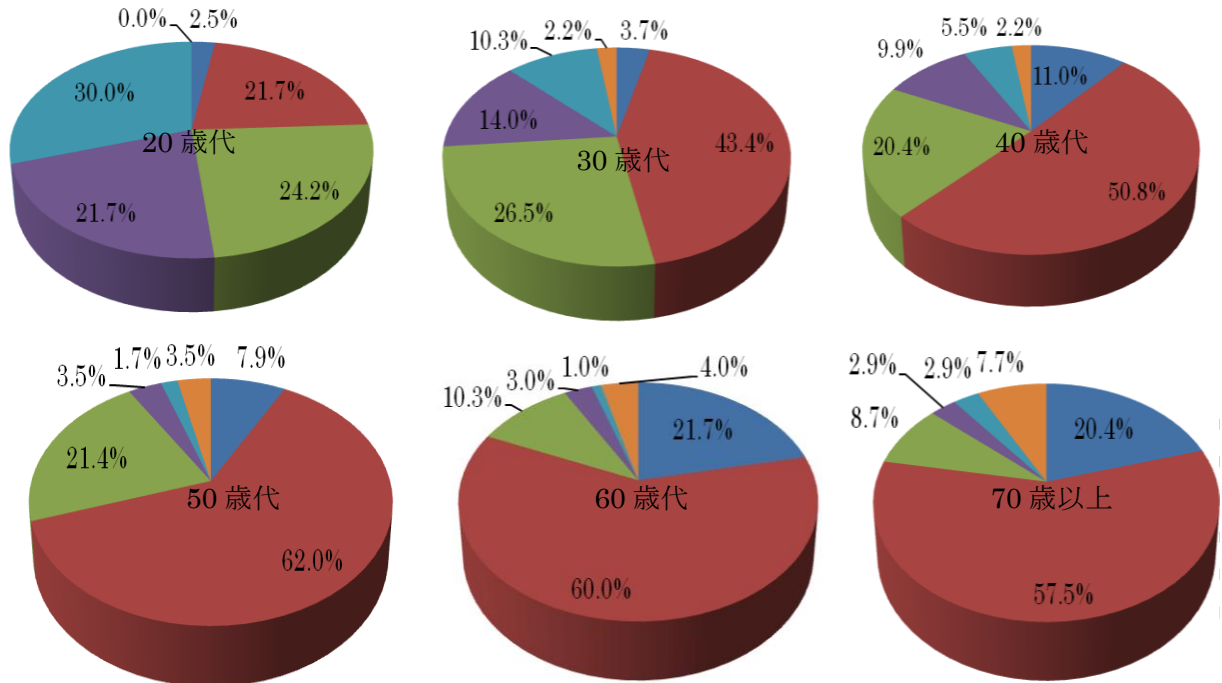
また、特に20歳代では、市議会だよりを「知らない・まったく見たことがない」と答えた方が30.0%おられました。

さらに、市議会に「関心がある」と答えられた方のなかでは「どの記事も読む」と答えた方が4割弱（38.9%）おられ、「関心のあるものだけ読む」と答えられた方と合わせると94.6%の方が市議会だよりを読んでおられるという結果でした。

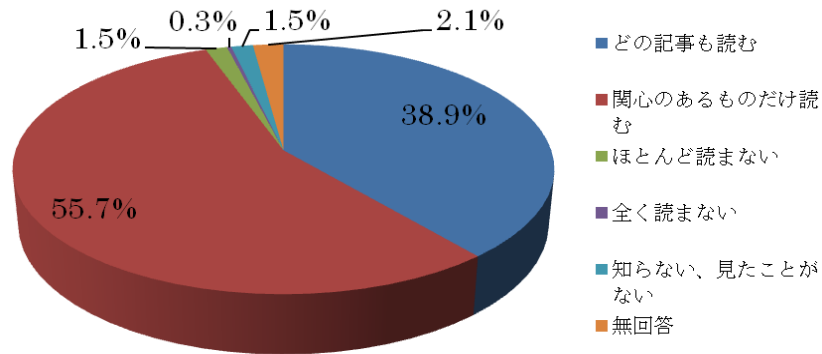
<全体結果>



<年齢層ごとの結果>



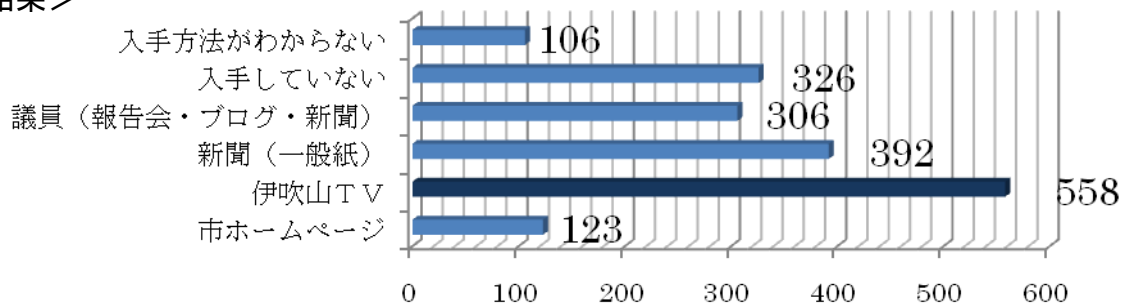
<問4で市議会に「関心がある」と答えた方に占める割合>



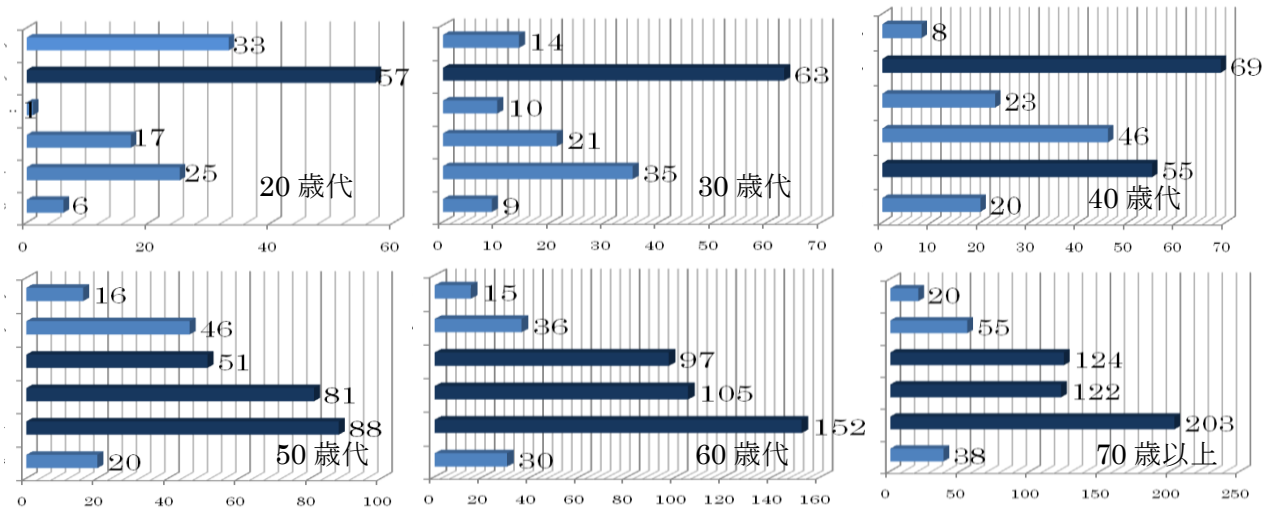
【7】市議会の情報の入手先《問6》(複数回答)

「あなたは市議会の情報をどこから入手されていますか」との問いに対し「伊吹山TV」と答えた方が最も多い結果でした。これを年齢層ごとにみると、20歳代、30歳代、40歳代では「市議会の情報を入手していない」と答えた方が最も多く、50歳代から「伊吹山TV」と答える方が最も多いという結果でした。また、50歳代から「議員(报告会・ブログ・新聞)」という回答が増えてくる傾向にあるという結果でした。

<全体結果>



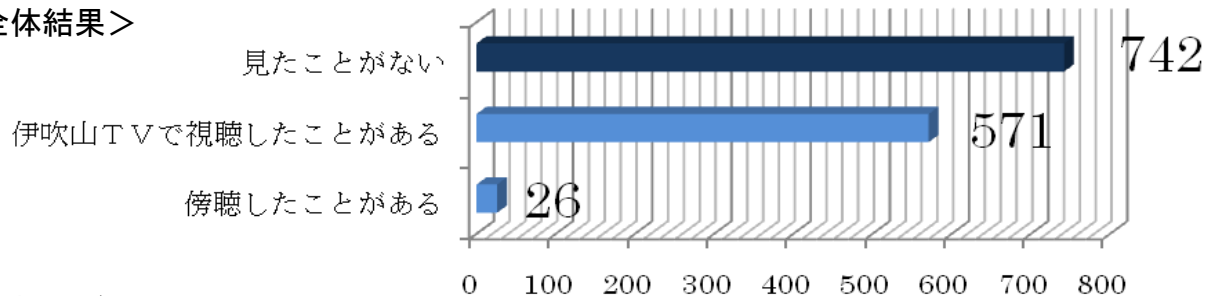
<年齢層ごとの結果>



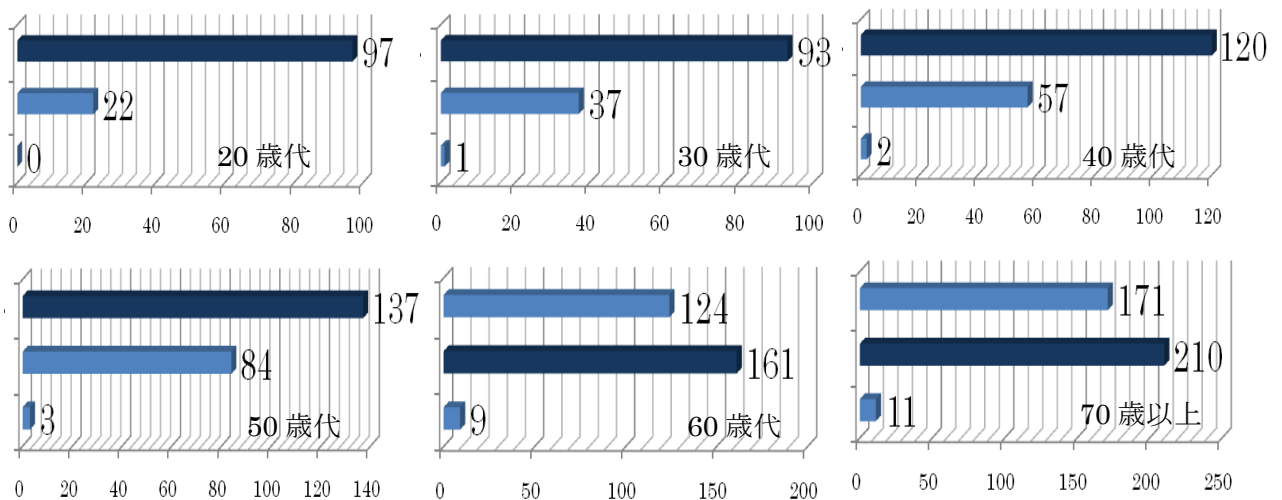
【8】市議会の傍聴・視聴の度合い《問7》（複数回答）

「あなたは市議会の会議などを見たことがありますか」との問いに対し、全体では「見たことがない」と答えた方が最も多く、次いで「伊吹山TVで視聴したことがある」の順でした。これを年齢層ごとにみると、20歳代から50歳代までは「見たことがない」と答えた方が最も多く、60歳代から上の年齢層では「伊吹山TVで視聴したことがある」との回答が多くなる結果でした。また、市議会を「傍聴したことがある」と答えた方は全体の1.9%という結果でした。

<全体結果>



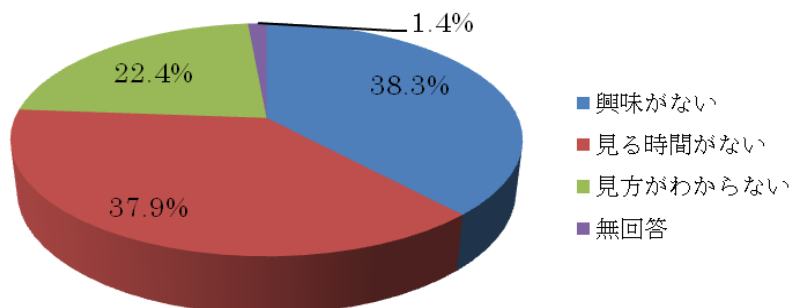
<年齢層ごとの結果>





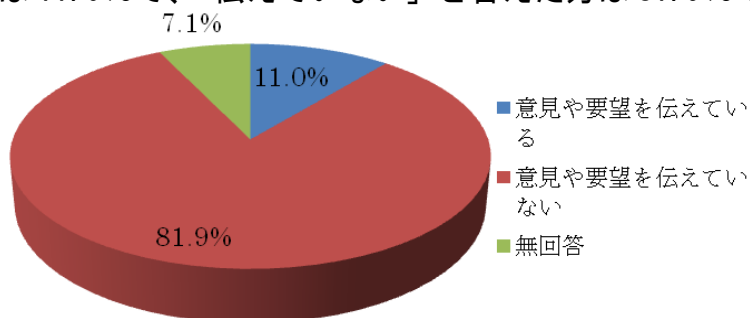
【9】上記【8】で「見たことがない」と答えた方の理由《問8》

上記【8】《問8》で「見たことがない」と答えた方に対し、その理由をお尋ねしたところ、「興味がない」と答えた方が38.3%、次いで「時間がない」と答えた方が37.9%、「見方がわからない」と答えた方が22.4%となりました。このうち「時間がない」と「見方がわからない」と答えた方を合わせ60.3%の方が時間的な都合や議会の見方がわからないなどで視聴等されていないという結果でした。



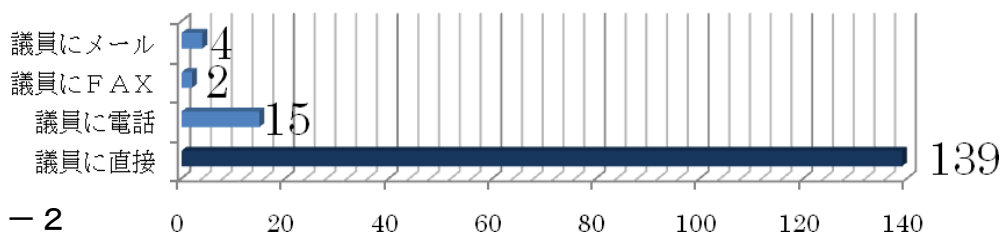
【10】市民から市議会議員への意見、要望等の伝達状況《問9》－1・－2

「あなたは市議会議員に自分の意見や要望を伝えていますか」との問いに対し「伝えている」と答えた方は11.0%で、「伝えていない」と答えた方は81.9%でした。



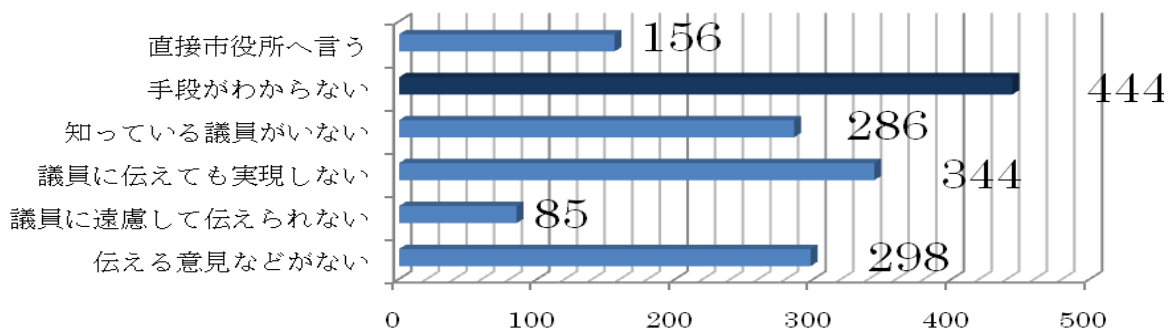
《問9》－1

伝えている方に対し、その手段についてお尋ねしたところ最も多かった答えが「議員に直接」でした。



《9》－2

伝えていない方に対し、その理由をお尋ねしたところ最も多かった答えが「手段がわからない」でした。次いで「議員に伝えても実現しない」の順でした。

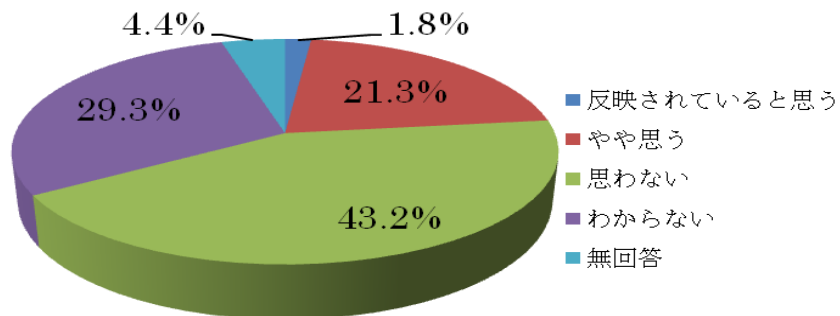


【11】市議会への市民の声の反映度合い《問10》

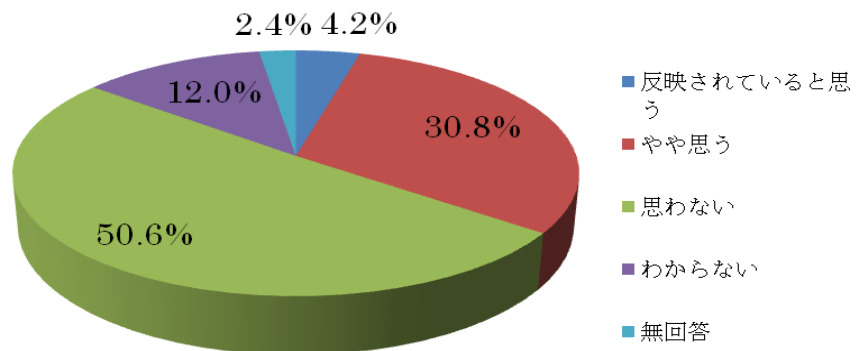
「あなたは市民の声が市議会に反映されていると思いますか」との問いに対し「反映されていると思う」と答えた方は1.8%で、「やや思う」と答えた方は21.3%でした。「思わない」と答えた方は43.2%であり、全体の約半数近くの方が、市民の声が市議会に反映されていないとの回答でした。

また、問4で市議会に関心があると答えた方について見ると、「反映されていると思う」と答えた方は4.2%で、「やや思う」と答えた方は30.8%であり、全体と比較すると若干評価は上がったように思われます。しかし「思わない」と答えた方も50.6%おられ、全体と比較すると厳しいご意見を持っておられるということがわかる結果でした。

＜全体結果＞

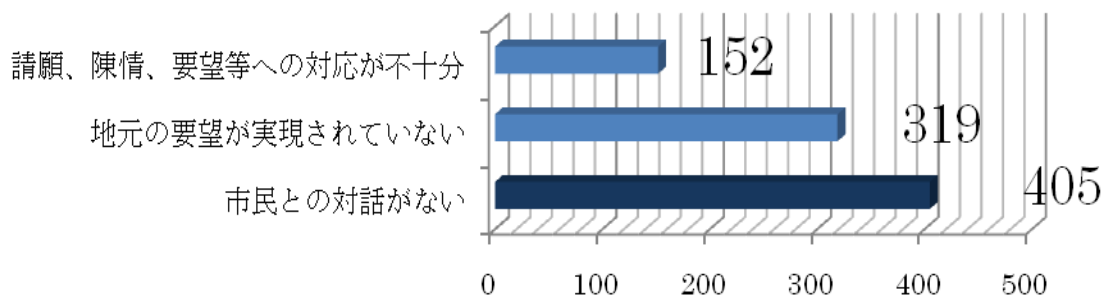


＜問4で市議会に「関心がある」と答えた方に占める割合＞



【12】上記《問10》で反映されていない理由は何か《問11》（複数回答）

反映されていない理由に関し最も多かったのは「市民との対話がない」との回答でした。次いで「地元の要望が実現されていない」の順でした。

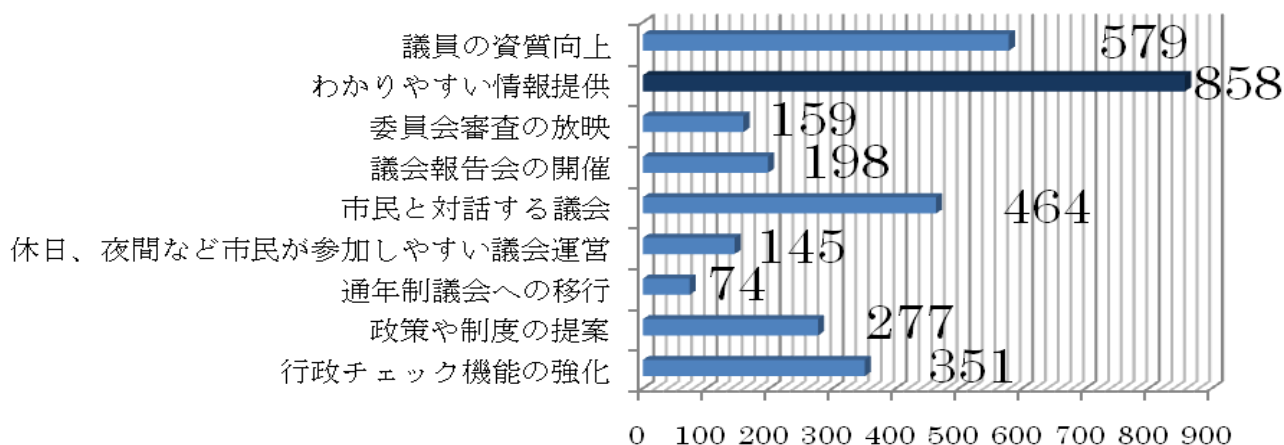


【13】市議会に何を求められるのか《問12》（複数回答）

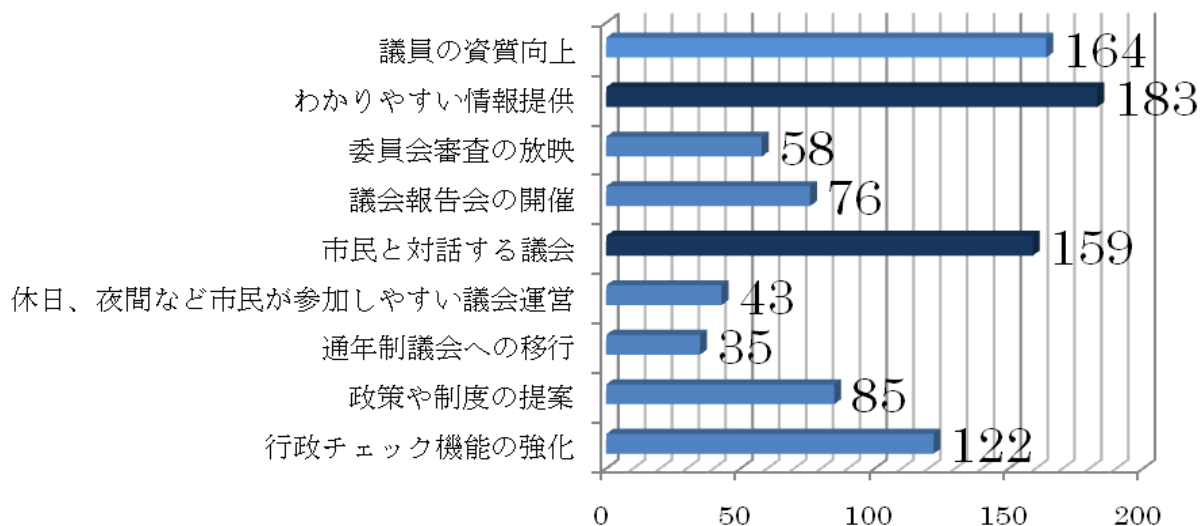
「あなたは市議会に何を求めますか」との問いに対し最も多い回答は「わかりやすい情報提供」でした。次いで「議員の資質の向上」の順でした。

また、問4で市議会に「関心がある」と答えた方についても同様の回答順となっていますが、これに次ぎ「市民と対話する議会（意見交換・意向調査）」との回答が全体と比較して伸びているという結果でした。

<全体結果>



<問4で市議会に「関心がある」と答えた方に占める割合>

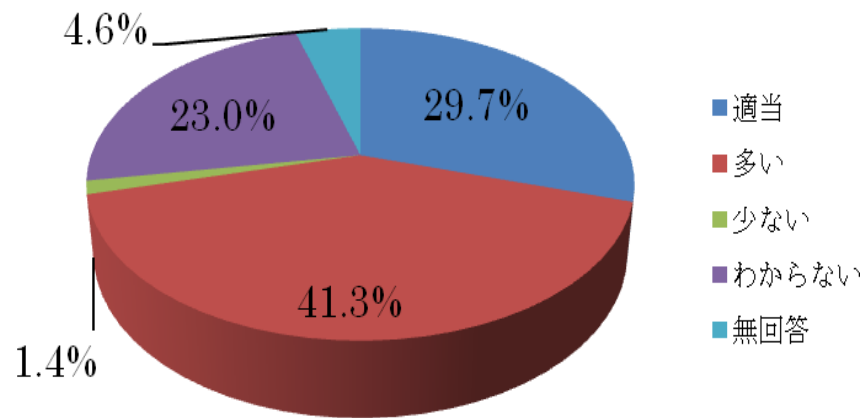


【14】 議員定数についての意識 《問 13》

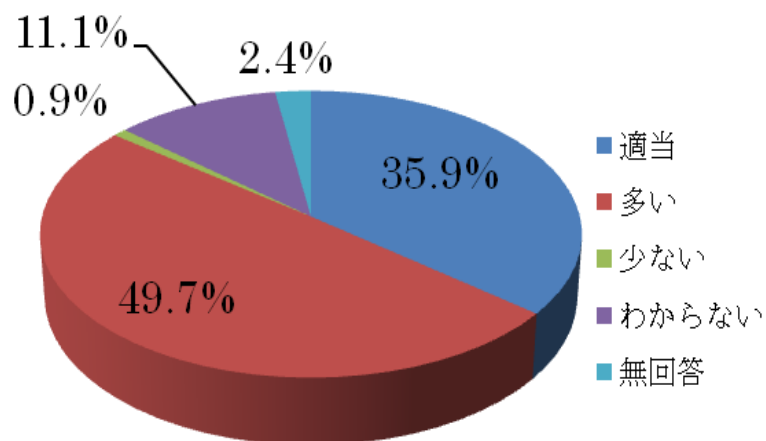
「現在議員定数は 20 人ですが、これについてどう思われますか」との問いに対し「適当」と答えた方は 29.7%、「多い」と答えた方は 41.3%でした。また「わからない」と答えた方は 23.0%でした。

問 4 で議会に「関心がある」と答えた方についてみると、「適当」と答えた方は 35.9%と、全体と比較して 6.2%上昇しました。「多い」と答えた方は 49.7%で、これも全体との比較では若干上昇しました。また、「わからない」と答えた方の比率は全体と比較し半分くらいに下がっています。

<全体結果>



<問 4 で市議会に「関心がある」と答えた方に占める割合>

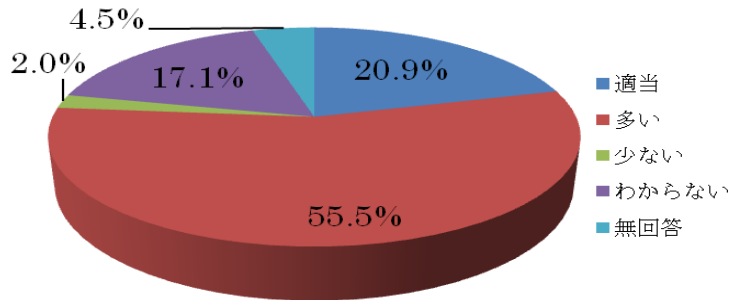


【15】議員報酬についての意識《問 14》

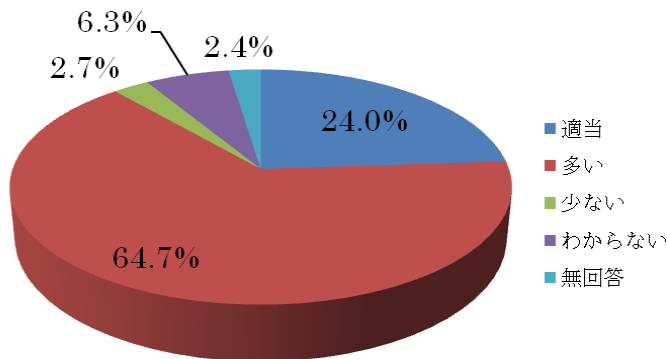
現在の議員報酬は月 30 万円（ただし、現在 10%カットにつき、27 万円）ですが、これについての問いに対し、「適当」と答えた方は 20.9%、「多い」と答えた方は 55.5% でした。また「わからない」と答えた方は 17.1% でした。

問 4 で市議会に「関心がある」と答えた方についてみると、「適当」と答えた方は 24.0% で、全体と比較して約 4.0% 上昇し、「多い」と答えた方は 64.7% で、これも全体との比較では約 10% 上昇するという結果でした。

＜全体結果＞



＜問 4 で市議会に「関心がある」と答えた方に占める割合＞

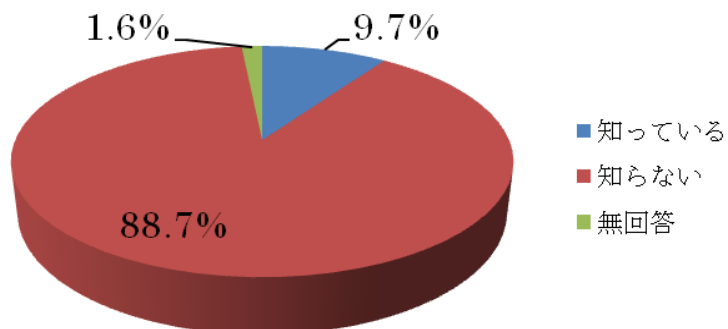


【16】政務調査費について知っておられますか《問 15》

「あなたは政務調査費が議員一人当たり月 1 万円支給されていることをご存じですか」との問いに対し、9 割近く（88.7%）の方が知らなかったと答えました。

政務調査費とは、法律および条例の規定に基づき、会派および議員の調査研究に資するため、必要な経費の一部として交付されるものです。

議員は、これにより他自治体の政策等について実地に調査研究し、本市の政策に対する評価および提言に活かすことができます。また、議会における活動をとおして市政の動向等を積極的に市民の皆様に発信するなどの活動を行うことができます。

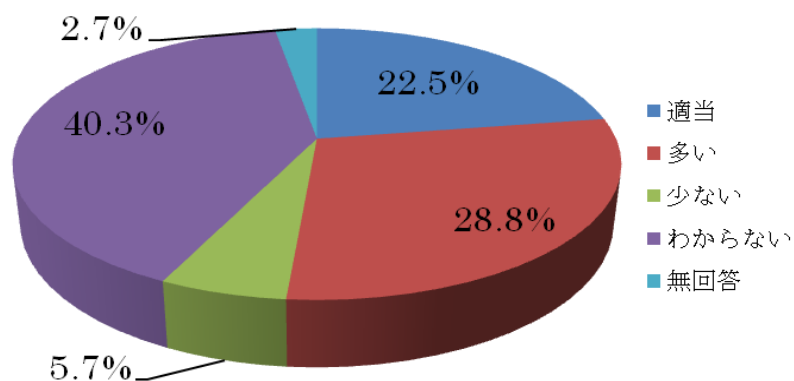


### 【17】 政務調査の額についての意識 《問 16》

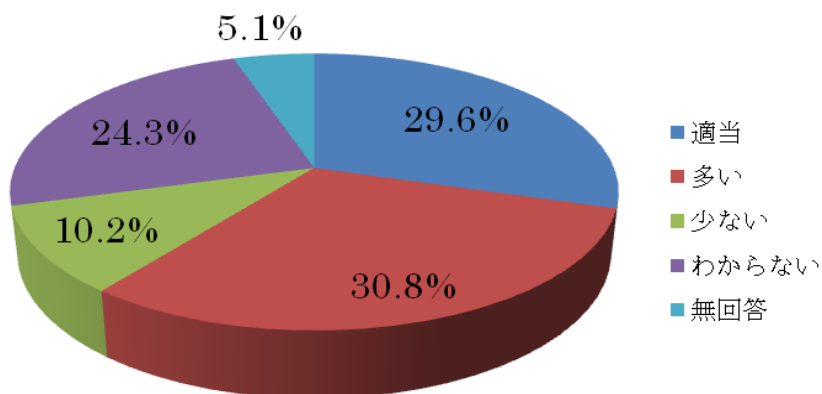
「政務調査費の額に関し、どうお考えになりますか」との問いに対し、「適当」と答えた方は22.5%、「多い」と答えた方は28.8%でした。また、「わからない」と答えた方は40.3%でした。

問4で市議会に「関心がある」と答えた方についてみると、「適当」と答えた方は29.6%と、全体と比較して7.1%上昇し、「多い」と答えた方は30.8%と、これも全体と比較して若干上昇しました。また、関心がある方のなかでは「適当」との回答と「多い」との回答がほぼ拮抗する結果でした。さらに、関心がある方のなかで「わからない」と答えた方は24.3%と、全体と比較して16%減少しました。「少ない」と答えた方は10.2%で、これも全体と比較すると5.1%上昇するという結果でした。

#### <全体結果>



#### <問4で市議会に「関心がある」と答えた方に占める割合>

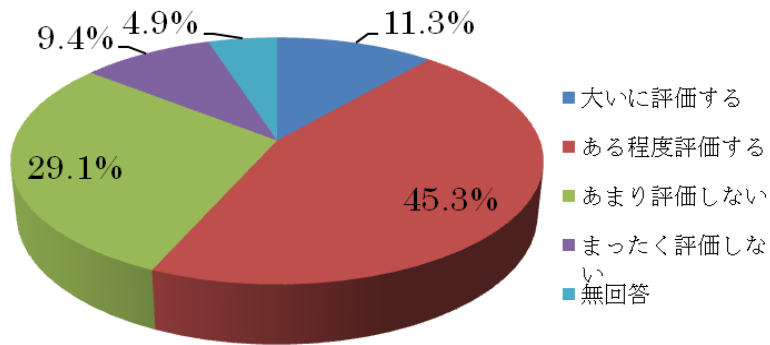


【18】 議会改革に対する評価についての意識 《問 17》

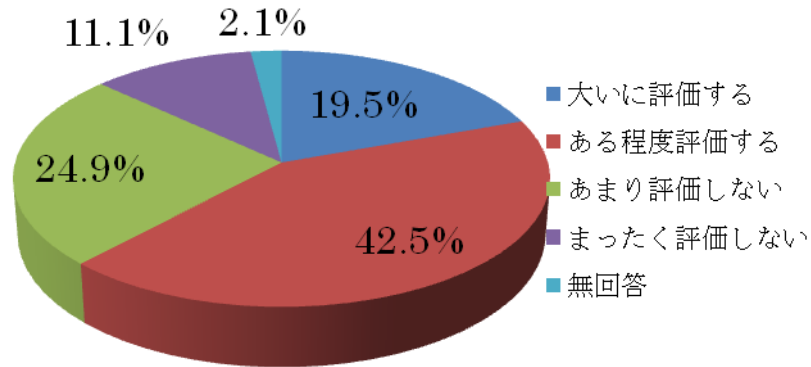
本市議会は、市民に開かれた議会をめざし現在議会改革に向け、議会改革特別委員会を設置し議論を進めています。このことについてどのように評価されますかとの問いに対し、「大いに評価する」と答えた方は 11.3%、「ある程度評価する」と答えた方は 45.3%で、約半数以上の方がおおむね評価していただいているという結果でした。

また、問 4 で市議会に「関心がある」と答えた方についてみると、「大いに評価する」が 19.5%と、全体と比較して 8.2%上昇します。「ある程度評価する」(42.5%)との回答と合わせると、62%の方が大小かかわらず評価していただいているという結果でした。

＜全体結果＞



＜問 4 で市議会に「関心がある」と答えた方に占める割合＞



【19】 自由記述の概要 《問 18》

今回のアンケートに伴い、市議会へのご意見やご要望を記述いただく欄を設けました。述べ 436 人の方にご意見をいただきました。

その内容をいくつかの項目に分類、整理した結果、意見の多かった上位 5 項目は「議会や議員に対する苦言」「市政に対する個別の要望」「議会や議員に対する励まし、要望」「情報発信や情報公開、広聴機能の拡充を図る」「議員報酬に関すること」という結果でした。

市民の皆さんからいただいたご意見を真摯に受け止め、今後の議会改革で議論していきたいと思っております。

## 2. 分析編

### アンケート調査を実施したことによりわかったこと

- アンケート調査の回答率は、市が実施した平成 23 年度市民意識調査と比較して、高い回答率であったことから、市民の皆さんの市議会に関する関心は非常に高いということがわかりました。
- 市議会への関心の度合いについて、若年層ほど関心が薄まる傾向にあるものの、全体としては約 75%の方が市議会に関し何らかの関心を持たれていることがわかりました。
- 議会だよりは、市議会の情報発信ツールの一つですが、若年層ほど市議会だよりを読む度合いが低くなる傾向にあります。しかし、全体では約 7 割近くの方が市議会だよりを読んでおられます。また、市議会に「関心がある」とお答えの方に関しては 94.6%の方が市議会だよりを読んでおられることがわかりました。このことから市議会だよりの発行は市議会の重要な情報発信ツールであることが確認できました。
- 市議会に関する情報の入手先として、「伊吹山TV」という答えが最も多く、市議会の伊吹山TVによる生中継には大きな効果があることがわかりました。
- 議会改革に関する問いで、半数以上の方が関心を持っていただいているということがわかりました。

### アンケート調査を終えてみえてきたこと

#### 【1】市議会に関する関心の度合いが若年層ほど低い

- 回答率の順位からは、若年層の回答率が低く、また、関心度も若年層が低い傾向にあることがわかりました。

#### 【2】市議会だよりを読む度合いが若年層ほど低い

- 年齢層が上の方も含め、全体としては約 7 割近くの方が市議会だよりを読んでおられます。一方若年層になるほど議会だよりを読む度合いが低いということがわかりました。特に 20 歳代では、議会だよりを「見たことがない」と答えられた方が 30.0%おられ、全体としては有効な情報発信ツールではあるものの、それが若年層までは及んでいないということがわかりました。



【3】市議会に関する情報の入手に対する意識が若年層ほど低い

- 市議会に関する情報の入手方法についての問いで、20歳代、30歳代では「情報を入力していない」と答えられた方が最も多いという結果になりました。上記課題の【1】【2】および情報の入手先が「市のホームページ」という回答も低かったことから、若年層ほど市議会に関する関心が低いということがわかりました。

【4】若年層では議員との接点が薄い

- 市議会の情報の入手先の問いに関し、50歳代くらいから「議員（報告会・ブログ・新聞）」という回答が増えてくる傾向がみえますが、逆に若年層では、その割合は低くなる傾向がありました。このことから、若い世代と議員との接点を持つような環境があまりない状況にあるということがわかりました。

【5】市議会を見たことがないと答えた方が最も多い

- 情報の入手先としては「伊吹山TV」が最も多かったのですが、市議会の傍聴・視聴では「市議会を見たことがない」と答える方が最も多いという結果でした。年齢別でみると60歳代以上から「伊吹山TV」という回答が多くなるものの、生産年齢層では市議会の視聴等があまりなされていない傾向にあるということがわかりました。また、実際に「傍聴したことがある」と答えた方はわずか1.9%にしか満たない結果となり、伊吹山TVの視聴とともに、生産年齢層に配慮した手法が必要であると思われる。さらに「見方がわからない」と答えた方も22.4%おられ、市議会の運営手法についても検討の余地があるものと思われます。

【6】市民の意見等が市議会議員に伝わっていない

- 市議会議員へ自分の意見や要望を伝えていない方が全体の約8割以上を占めるという結果でした。その理由で一番多い回答は「手段がわからない」というものでした。次いで「議員に伝えても実現しない」という回答順であり、このことから市議会議員と市民との交流の場がなく、意思疎通の機会があまりない現状にあると思われます。

【7】市議会に市民の声が反映されえていないと答えた方が多かった

- 「市議会へ市民の意見が反映されているか」との問いに対し、約半数の方が「反映されていない」と思っておられることがわかりました。議会に関心がある方のなかでは「反映されていると思う」という回答率が若干上がりますが、逆に「反映されていない」という回答率も若干上がりました。また、その理由について尋ねたところ、「市民との対話がない」という理由が最も多いという結果でした。このことから【6】とも相まって、市民と議員の意思の疎通や交流の場が少ない現状にあると考えられます。

**【8】議会、議員の活動が市民に浸透していないのではないか**

- 「市議会に何を求めるのか」との問いに対し、最も多い回答が「わかりやすい情報の提供」でした。次いで「議員の資質の向上」という順でした。また、議会に関心がある方についてみると、全体と同様の回答順位であるものの「市民と対話する議会」と回答された方の伸びが大きく、これらのことから日ごろの議会活動や議員の活動が広く市民に浸透していない状況にあると思われます。

**【9】議員定数は多いと答えた方が半数近くを占めた**

- 議員定数についての問いに対しては、全体では「多い」との回答が約半数を占める結果となりました。議会に関心がある方についてみると「適当」との回答が若干上昇するものの「多い」との回答は、全体と比較して若干上昇する結果でした。このことは、議会と市民との接点が少ない現状にあるなどさまざまな要因が考えられます。今後はこの結果を真摯に受け止め、議会改革のなかで議論していきたいと考えます。

**【10】議員報酬は多いと答えた方が半数以上を占めた**

- 議員報酬に関しては、2年ほど前から議会内でも多くの議論がなされてきました。その結果、現在は月額報酬の一律10%カットを決定し、27万円が支払われています（条例では30万円）。また、市民の皆さんからも多くのご意見をいただき、今回のアンケート調査でも数多くのご意見をいただいております。このことは、前述の議員定数に関することと同じく、議会と市民との接点が少ない現状にあるなどさまざまな要因が考えられます。今後はこの結果を真摯に受け止め、議会改革のなかで議論していきたいと考えます。

**【11】政務調査費について知らなかったと答えた方が約9割を占めた**

- 政務調査費に関しては「知らない」と答えた方が約9割を占め、また、その額に関しても全体では40.3%の方が「わからない」という回答でした。このことから政務調査費の情報公開のあり方についても前述のことがらと同様に検討の必要があるものと思われます。

### 3. おわりに

今回の市議会に関するアンケート調査は、市民の皆さんが市議会と議員に対してどのように考え、何を望んでおられるのか、率直なご意見等を把握するとともに、今、本議会が取り組んでおります議会改革の参考とすべく実施いたしました。

市民の皆さんのなかから 3,000 人の方を無作為に抽出し実施いたしましたところ、締切日までに 1,385 人の方にご回答をいただきました。回答率が 46.2%に達し、また、436 人の方から自由記述欄へのご意見をいただきました。議会に対する潜在的な関心の高さに議員一同身の引き締まる思いであります。

今後は議会改革特別委員会を中心に、今回のアンケート結果の検証や分析を通じ、市民の皆さんが日頃感じておられる議会のあり方や議会として取り組むべき検討課題等を明らかにするなど、本特別委員会で活用していくとともに、市民にわかりやすい、開かれた議会に向けてなお一層努力し、議会改革を進めていきたいと考えております。

最後に、本アンケート調査にご協力いただき、貴重なご意見等をお寄せいただきましたことに対し、厚くお礼申し上げます。

